

敗走した
『遺産製作者』
ジ・クリエーター

：つまり我々には
新たな依り代が
必要である

そこで
とある人物の
複製を行った

それがこの
櫻ノ杜詩姫の
クローンで
ある

以前復元の際の
遺伝子情報が
残っていたため
可能となったが

しかしながら
素材不足のため
生み出せたのは
この一体のみ

その為我々は
『彼女自身で
増えて
もらおう』
と決めた

そこで以前より
サンプルとして
捕らえたままの
地球人の男を

詩姫の番と
なるよう
仕向けた

つまり
子作り
である



だが
しかし

この中年の男は
妙な拘りが強く
詩姫への着衣を
要求した挙句

すぐ性交せず
やっと下着を
脱がせたと
思えば

執拗に
彼女の股間を
触り続ける
始末……



とはいえ
彼女の体温が
高くなっており
動悸も早い

つまりこれは
興奮状態に
有ると思われ
二人の相性は
良好なのでは？

これならば
複製詩姫に
能力制限を
かけずとも
よかったか…





本能の赴くまま
好きなだけ
繁殖に励むが
いい

我ら
『遺産製作者』
の為に――
って待て…

??
んん…??
複製詩姫の脳波に
不可解なノイズが
検出されたぞ？

これは……
何者かの意識と
繋がっている？
一体誰だ…？





